

#29 Do You Remember? 4

振り返ろう (4)

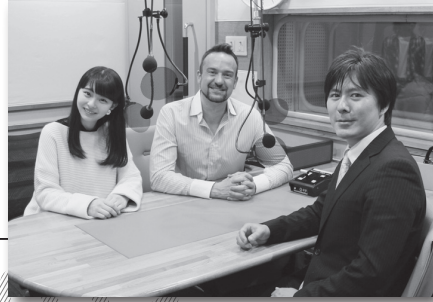
~ Lesson 14 - 16 ~

講師
工藤 洋路
(学習メモ執筆)

今日の学習のゴール

これまで学習したことを確認していきましょう。

1. 表現や文法の使い方を理解しているか確認する。
2. 表現や文法を用いて、場所について話したり、書いたりできる。
3. 文法（関係代名詞と関係副詞）の使い分けを意識できる。



右から、講師の工藤洋路先生、じえいそんさん、川口ゆりなさん

今回の学習のポイント

場所を表す名詞を説明する場合、関係代名詞のwhichやthatを使う場合と、関係副詞のwhereを使う場合があります。

関係代名詞を使うのか、関係副詞を使うのかは、その後の構造に注目する必要があります。

【関係代名詞】

a place **which (that)** I like _____

S V ↑ O がない……文が未完成

- このOの部分に関係代名詞が置き換えている
- 代名詞なので置き換える機能がある

【関係副詞】

a place **where** I practice dancing

S V O ← SVO……文が完成

- 文が完成しているので、関係代名詞は使えない
- 置き換えるものがないので、関係副詞を使う

場所について英語で話そう

■会話例 ①

Kudo : Where do you usually have concerts?

Yurina : We usually have concerts at a music hall.

Kudo : Which do you like better, big concert halls or small concert halls?

Yurina : A place where I like to have concerts is both.

■会話例 ②

Kudo : Tell me about a place that you like.

Yurina : The place that I like is a Korean restaurant.

Kudo : What do you have at a Korean restaurant?

Yurina : Korean style BBQ. I love it.

■ Exercise 次の日本語を英語にしてみましょう。

[答えはページの下にあります。]

(1) ボールを打つ練習をする場所

(2) 先生が昨年訪れた場所

(3) 5万人が収容できるスタジアム



Hint!

~を収容する: hold ~

(4) 音楽のコンサートが開かれるホール

(5) 外国人旅行者に人気の町

(6) 私が生まれた町

- (1) a place where I practice hitting balls
- (2) a place which my teacher visited
- (3) a stadium which can hold 50,000 people
- (4) a hall where music concerts are held
- (5) a town which is popular among foreign tourists
- (6) a town where I was born



このページ掲載の文章・画像の無断転載を固く禁じます。

Door to Success

セルフチェック④ 時や場所などの修飾語を加えよう

〈英文A〉

I went shopping. I bought some cups and plates. I had coffee.
I had a lot of fun.

〈英文B〉

I went shopping to a department store last Sunday. I bought some cups and plates at a variety store. After lunch, I had coffee at a very popular coffee shop. I had a lot of fun that day.

- 英文 A と B を比べてみると、文の数（＝「主語＋動詞」の数）は、それぞれ 4 つと、同じ数です。
- ただし、A のほうは、読んでみると、ブツブツと文が切れている感じに聞こえます。また、最後に I had a lot of fun. とありますが、A の英文からは「楽しさ」が伝わってきません。
- 一方、B のほうは、A と同じ文の数ですが、楽しい日曜日であったことがイメージできます。
- B のほうは、下線で示されたとおり、「時」や「場所」などの情報がすべての文に付いています。
- このように、「時」や「場所」を示す修飾語を伴った文を作ることができれば、深い内容を話すことができるようになります。

You Know What?

日本と海外のゴミ事情

今回は、日本と海外の比較としてあまり考えたことがないと思われる「ゴミ事情」がテーマです。ゴミについて、日本とアメリカの学校の違いを見てみましょう。

日本では、「ゴミ捨て」の当番があるように、掃除を自分たちで行います。自分たちが使うところは自分たちできれいにしようという考えに基づいています。一方、アメリカの学校では、生徒は掃除をしません。そして、ゴミ捨て当番もありません。ただ、ゴミの分別は日本と同じように行うことが多いので、ゴミ箱にゴミを捨てるときは注意をしています。紙のごみであれば、**paper** と書いてある専用の箱に入れたり、カンやペットボトルも同じように、**cans/plastic bottles** と書かれたゴミ箱に入れます。

自宅でのゴミの処理ですが、日本と同じく、アメリカでは、ごみ収集車 (**garbage truck**) が回収してくれます。じえいそんさんによると、アメリカでは、家のすぐ前にゴミを置いておけば収集車が取りに来てくれるそうです。日本だと、それぞれの家庭が決められた 1 つの場所に置

きに行き、収集車は1箇所にとまったゴミを回収していきませんが、これと比べると、アメリカのゴミ収集車は一軒ずつ回って大変ですね。

ゴミはリサイクルで再利用できるものも多いですが、ゴミを出さないようにすることが先決です。じえいそんさんによると、アメリカの一部の地域では、ゴミ1箱なら無料で出せるけれど、2箱目からは有料になるところもあるそうです。そのほかの取り組みとしては、日本でもエコバッグと言われるように、スーパーマーケットなどで余分な袋はもらわず、持参した袋を使うという人も多いようです。そうしたスーパーは **bagless markets** と呼ばれているそうです。

